

**東京海上ホールディングスが SAM サステナビリティアワード 2019 において
「ブロンズクラス」に選定されました。**

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、世界的 ESG(環境、社会、ガバナンス)格付機関である RobecoSAM 社が主催する「SAM サステナビリティアワード 2019」において、「ブロンズクラス(銅賞)」を受賞しましたので、お知らせいたします。

SAM サステナビリティアワードは、RobecoSAM 社が、世界の大手企業約 4,600 社を対象に、「経済」「環境」「社会」の 3 つの側面から企業のサステナビリティの取り組みを評価し、回答のあった中から特に優秀な企業を「ゴールドクラス」「シルバークラス」「ブロンズクラス」として選定・表彰しているものです。

当社は、保険会社中世界で第 4 位、日本で第 1 位の評価を受け、「ブロンズクラス」を受賞しました。今後もステークホルダーの皆様とともに、社員の誠実で思いやりのある行動を起点とした全社員参加型の取り組みを通じて様々な社会課題の解決に貢献し、すべての人や社会から信頼される「良い会社 “Good Company”」づくりに取り組んでまいります。

<表彰式の模様>



■東京海上グループの CSR の取り組み<サステナビリティレポート 2018>
www.tokiomarinehd.com/sustainability/index.html